

# 【ねがいましては】

平成 10 年 6 月 25 日

第 106 号

共和珠算学習塾

## 「先生の姿」

小学生四年生だった頃、今までのベテランの先生から、大学出たての若い女の先生へと、担任が変わりました。その先生の思い出というと、「真剣」だったなあということです。勉強の教え方が上手だとか、先生らしい方だとかというのでなく、毎日私たちのことに真剣に使っていらっしゃったと、思い出されるのです。私の成績はガタンと落ちましたが、それよりなにより「先生」は、私に「明るさ」を与えてくださいました。「先生」は、毎日毎日泣いてばかりいました。泣いて職員室へ行くのですが、学級委員（クラスの代表）が職員室へあやまりに行って、「先生」は帰ってくる。そんな毎日が続きました。今でも私は、あの真剣さには追いつけないなあと思っています。

そんな姿は、今でも私のお手本でもあります。

「人」の中には、誰にでも「あり」をふみつぶしてしまおうとする心があると思います。そのような心は、そのままにしておくと「いじめ」などの要因になりかねないと思います。命の大切さを、いつもいつも訴えていらっしゃった先生は、しっかりと私の中にうけがれています。

命の大切さを伝えることは、人の心の大切さを伝えることだと、私は思います。ついつい見逃してしまいがちな、ほんのちょっとした言葉でも、心は傷ついてしまいがちです。

一所懸命に伝える、一所懸命にかかる、一所懸命に生きる、そのことの大切さを教えてくれた、大学出たての先生はこれからも私のお手本です。また、そのことをしっかりと認識させてくれたのは、他でもない、私の前にいてくれる生徒さん、あなたの方なのです。

私の教室ではじめての小学校の教育実習生の「M」さん、体当たり精一杯の自分を子供たちにぶつけてください。子供たちの中にかくれた、わがままや残酷性など、いやなものも確かに見えると思います。でも、結局は子供たちから多くの宝物を受け取ると思うのです。なぜなら私がそうだからです。彼らはきっと、悪いことをしたとき、真剣にしかってくれるのを待っています。そして心の中に潜んでいる悪い心を追い出してくれるのを待っていると思います。

さて、きょうも教え教えられ、育み育まれ、一所懸命に生き切ってください。失敗してください。

## ☆ 7 月の予定

6 月下旬 コンピューター暗算検定試験実施・・共和珠算学習塾

7 月 4 日（土） 珠算・暗算 検定試験申し込み締切

18 日（土） 珠算 4 級以下・暗算 1 級以下検定試験・・共和珠算学習塾

都合の悪い人は、16 日（木）に実施します

19 日（日） 珠算 3 級以上・暗算段位検定試験・・中央商業高等学校

★ 夏休みの予定に関しては、後日お手紙を配ります。

★ キャンプ受付中です。・・今年の目玉、みんなのお料理バイキングコンテスト

★ 小学生夏の勉強室・中学生夏期講習（全体授業はありません）のお知らせは  
近日中にお渡しします